

時間割コード	G2B40507	開講年度	2026			市民開放授業		
授業題目	古代の社会と文明					担当教員	新津 健一郎	
英文授業名	Ancient Civilizations							
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・5時限		対象学生	全
講義室	共通教育1 2 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	歴史学及び古代史に関わる基本的な概念・用語・事実関係を理解し、われわれが生きている現代の社会や文明が形成されてきた歴史的経緯について、具体的かつ学術的に考察できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (国際理解)							
(4)授業の概要	人類は、今日に至るまでに、きわめて高度な文明を築いてきました。現在私たちの目の前にある生活・慣習・文化・社会・制度などは、そうした歴史的過程を経て成立したものと いえます。大学という教育機関や、様々な学術領域・職業なども例外ではありません。 一方、人類の初期文明は地域ごとに異なった特質をもっていました。現代の社会は、それらが相互に関わりあいながら発展あるいは変容することによって形作られてきたものです。その過程を理解することは、国内外の多様な文化や、それらの多元性・重層性を理解するための基礎となります。 そこで本講義では、アジアを中心としつつ日本を含む世界各地の主要な文化・文明の様相を見渡し、歴史学領域の学術的概念や分析視角を紹介するとともに、先史～古代史の展開の大枠と各地域の歴史的特質を学んでいきます。							
(5)授業のキーワード	古代史、世界史、東洋史、アジア史、考古学、古代文明、生活、社会、文化、王権、法制							
(6)授業計画	第01回 ガイダンス 第02回 われわれはどこから来たのか：人類の進化 第03回 「自然」を飼いならす：農耕と牧畜 第04回 王とは何か：王権の成立／西アジア 第05回 墓はだれのためのものか：モニュメントの造営／エジプト 第06回 「まち」から「くに」へ：広域国家の形成／イランと地中海 第07回 思想と宗教は何が違うのか／インド 第08回 甲骨には何が書かれたのか：文字と呪術／中国 第09回 誓いと裁き：法制度の形成／中国 第10回 大学はなぜ「大学」というのか：知識とテキストの伝承／東アジア 第11回 文明の条件（1）／日本列島の場合 第12回 文明の条件（2）／アメリカ大陸の場合 第13回 皇帝の誕生：「古代帝国」の成立 第14回 帝国が滅びるとき：文明崩壊の要因 第15回 まとめ―古代の夢を食らう中世 ※あわせて授業アンケートを実施 ※定期試験は行いません。 ・各回の授業は、歴史学上の論点や学術的概念・視点を踏まえてテーマを設定し、具体的な時代・地域を題材として検討を行う、という形式で進めます（一回完結）。第4回～第6回はユーラシア大陸の西方、第8回～第10回はユーラシア大陸の東方を主な事例として取り上げ、第13回～第15回では両地域を俯瞰します。第2・3回は人類学、第7・11・12回はそれぞれインド亜大陸・日本列島・アメリカ大陸の話題を取り上げます。 ・受講者確定後にアンケートを行い、前提知識や関心等を確認します。受講者の傾向や希望に応じて、各回の授業で扱う具体的な題材や取り上げる順序については、（授業の達成目標に影響しない範囲で）調整することがあります。また、実際の進行状況によっても、多少計画が前後する可能性があります。 ・授業は講義形式（対面）を基本として進行しますが、授業の理解を促進するための取り組みとして、簡易なペアワーク等を行うことがあります。また、シラバス掲載の参考文献など図書を用いた課題（後述）を設定します。							
(7)成績評価の方法	1) 確認テストの積み重ね【70%】……学期を通じて3～4回、選択式設問を中心とする確認テストを行います。具体的な範囲と日程は授業内で指示します（「事前事後学習」以外に特別な準備を必要とするものではありません）。各回の範囲終了後、1週間～10日程度のあいだにeALPSで各自受験する形式とし、得点の積み重ねを70点分に換算します。 2) 読書レポート【30%】……授業の達成目標を踏まえ、各自の考察をまとまりのある文章で記述する課題を設けます。原則として、「各回授業の標題」から一つをテーマとして選び、授業での学修事項を踏まえるとともに、「シラバス掲示の参考図書」（過去の本授業のシラバスに掲載されたもの、授業中に紹介したものも含む）を利用してレポートを作成し、学期末に提出するものとします。具体的な課題及び作成手順・ルーブリック等（生成AIの利用に関する注意事項を含む）の詳細は授業内で説明します。成果は30点満点で採点します。 以上1) 及び2) を合算し、100点満点で評価します。 ※いずれも、eALPSを使用します。未受験・未提出は機械的に0点として処理します（「やったつもり」							

(7)成績評価の方法	「出したつもり」であっても、記録されていなければ未受験・未提出となってしまいます）。操作ミスには十分注意してください。
(8)成績評価の基準	・本授業で扱う基本的な概念・用語・事実関係などについて、大枠を理解できていれば、「合格水準にある」（可）。 ・本授業で扱う基本的な概念・用語・事実関係などについて、具体的かつおおむね正確に理解できていれば、「やや上にある」（良）。 ・本授業で扱う基本的な概念・用語・事実関係などについて、具体的かつ正確に理解できていれば、「かなり上にある」（優）。 ・本授業で扱う基本的な概念・用語・事実関係などについて、正確に理解した上で、自身の経験・関心などを踏まえた学術的分析・考察を展開できていれば、「卓越している」（秀）。
(9)事前事後学習の内容	【事前】シラバス（とくに授業計画欄）をよく読み、次回の授業で取り扱われる内容について、参考図書（シラバスに挙げたもの）・高等学校用の世界史教材等を参照して、主要な概念・用語・事実関係・位置関係（地名）を確認しておくこと。 【事後】まず、配布資料をよく読みなおし、内容を自分の言葉で整理・要約すること。そのうえで、シラバスまたは配布資料に挙げられた文献を図書館で探して手に取り、目を通すこと。また、確認テスト・読書レポートの準備もここに含みます。 ※本講義は90時間の学修を必要とする内容です。授業の達成目標に到達するためには、授業外で60時間以上（目安として、授業1回あたり4時間程度）の学習活動が必要です。 ※成績評価の対象となる確認テスト・レポート以外に、授業の理解を促進するための取り組み（すなわち事前・事後の学修活動の一部）として、具体的な予習課題・復習課題を提示することがあります。 ※自身の専攻領域・問題関心などと関連付けたり、休日などに史跡や博物館を自主的に訪れたりして理解を深めることを強く推奨します。授業内容と関連する博物館展示や史跡・文化財等を紹介することもあります。県内では、たとえば野尻湖遺跡、尖石遺跡、弘法山古墳、牧監庁跡などが本授業と接点を持ちます。積極的に足を運んでください。
(10)履修上の注意	・高校での世界史探究（旧世界史B）の履修経験は問いません（日本史の話題も扱いますし、高校地歴科の中なら地理に近い話もあります）。基礎的事項は、その都度授業内で説明したり、事前事後学修のなかで確認することを指示したりしながら進めていきます。また、本授業は世界各地の先史・古代社会の特徴や共通性、それらを説明するための学術的概念を理解することを重視するものです。人名・地名など固有名詞や細かい年代を一問一答的に記憶する（あるいは、それらを前もって頭に叩き込んである）必要はありません。「歴史科目は中学社会（歴史分野）以来」という方であっても、意欲や興味・関心次第で楽しみながら参加できると思います。文理選択や得意不得意を問わず、幅広い所属からの参加を歓迎します。 ・授業に関わる連絡（たとえば課題の締切のリマインド、授業日に台風直撃によって交通の混乱が予想される場合の対応など）には、【eALPSのメール連絡機能】を使用します。「学籍番号@shinshu-u.ac.jp」のアドレスにメールが届くので、見落とさないようにしてください。個別にメールで連絡を取る場合も、大学のアドレスを使用します（メール着信時にスマホ等に通知が出るように設定しておく）と便利です。また、授業のeALPSページにも連絡事項を掲示します。メールボックスとeALPSは週1回以上を目安として定期的に確認してください。指示や連絡の見落としはご自身の不利益となる場合があります。大学での学修の仕組みに慣れるよう心がけましょう。
(11)質問、相談への対応	・原則として電子メールで連絡してください。担当教員のメールアドレスはeALPSから確認することができます。ただし、返信には時間を要する場合があるので、余裕をもって連絡してください。また、授業内および本授業のeALPSページでメール連絡の際の注意事項を伝えますので、それらの指示に従ってください。不審なメール及び迷惑メールと紛らわしいメールは開封せずに削除しています（メールソフトが自動でブロックしてしまうこともあります。土日祝日を除いて3日待っても返信がない場合は、宛先・書式等を確認したうえで再送してください）。 ・ガイダンス、各回授業の前後に直接質問していただいてもかまいません。また、必要に応じて面談（対面・遠隔いずれでも可）にも対応します。希望する場合は電子メールでアポイントをとってください。 ※授業の運営・受講ルールに関しては、まずはシラバス及びガイダンスの内容をよく読んだうえでお尋ねください。
(12)授業への出席	・全ての回に遅刻早退なく対面で出席することが基本です。原則として、出席確認システムを使用します。スマートフォン等のデバイスを忘れないようにしてください。 ・出席確認システムの不具合への対処は、ガイダンス及びeALPS上で説明します。十分に理解したうえで履修してください。 ・この授業の達成目標に到達するためには、初回のガイダンスを除き、おおむね10回以上の出席（相応の事前事後学習を含む）が必要です。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は所定の方法により申し出てください（詳細は初回のガイダンスで説明します）。原則として、授業資料及び指定文献の読み込みによって、学修内容を補うものとします。ただし、授業中のペアワークなどの活動は、その性質上、完全には「補充」できないことに留意してください。 ・虚偽の理由による申出など不正があった場合は、事情に応じ、素点の大幅な減点または単位の不認定とすることがあります。
【教科書】	指定しません。毎回資料を配布します。
【参考書】	相沢央『雪と暮らす古代の人々』9784642059855, 吉川弘文館, 2024. 青木健『ペルシア帝国』9784065206614, 講談社, 2020. 青山和夫ほか『古代アメリカ文明』9784065342800, 講談社, 2023. 上杉彰紀『インダス文明』9784639028130, 雄山閣, 2022. 恵多谷雅弘編『宇宙考古学への招待』9784389501600, 清水書院, 2025.

【参考書】	大清水裕『ローマ帝国とアフリカ』9784121028716, 中公新書, 2025 大城道則『古代エジプト文明』9784065382585, 講談社, 2025. 太田博樹『古代ゲノムから見たサピエンス史』9784642059657, 吉川弘文館, 2023. 落合淳思『漢字はこうして始まった』9784153400382, 早川書房, 2025. 柿沼陽平『古代中国の裏社会』9784582860788, 平凡社, 2025. 河合望『古代エジプト全史』第2版, 9784639030409, 雄山閣, 2025. 川田順造『アフリカの歴史』9784044006914, 角川文庫, 2022. 河野一隆『王墓の謎』9784065358122, 講談社, 2024. P. クラストル『国家をもたぬよう社会は努めてきた』9784903127323, 洛北出版, 2021. 栗田伸子『ヌミディア王国』9784814005529, 京大学術出版会 2024. ケネス・エイムスほか『複雑採集狩猟民とはなにか』9784639024293, 雄山閣, 2025. 小泉龍人『都市の起源』9784062586238, 講談社, 2016. 後藤健『メソポタミアとインダスのあいだ』9784480016324, 筑摩書房, 2015. 小茄子川歩『インダス文明の社会構造と都市の原理』9784886217400, 同成社, 2016. 小林登志子『古代オリエント全史』9784121027276, 中公新書, 2022. 小林登志子『シュメル人』9784065386927, 講談社, 2025. 近藤二郎『古代エジプト文明』9784634349315, 山川出版社, 2025. 斎藤成也編『図解 人類の進化』9784065261361, 講談社, 2021. 阪倉篤秀『中国皇帝の条件』9784106039256, 新潮社, 2025. 桜井万里子『古代ギリシア人の歴史』9784887084452, 刀水書房, 2025. 佐藤彰一『クローヴィス以前』9784815810306, 名大出版会, 2021. 佐藤信編『古代史講義』9784480071170, ちくま新書, 2018. 佐藤信弥『古代中国王朝史の誕生』9784480075833, 筑摩書房, 2024. 私市正年ほか『ベルベル人』9784560510476, 白水社, 2021. 設楽博己『縄文vs. 弥生』9784480074515, ちくま新書, 2022. 篠田謙一『人類の起源』9784121026835, 中公新書, 2022. 下垣仁志『鏡の古墳時代』9784642059473, 吉川弘文館, 2022. ジャン＝ノエル・ロベール『仏教の歴史』9784065335345, 講談社, 2023. 杉本智俊『図説旧約聖書の考古学』9784309763064, 河出書房新社, 2021 杉本智俊『図説新約聖書の考古学』9784309763057, 河出書房新社, 2021. 瀬川拓郎『アイヌと縄文』9784480068736, ちくま新書, 2016. 関雄二編『古代文明アンデスと西アジア』9784022630353, 朝日選書, 2015. 月沢尚一郎『ホモ・サピエンスの宗教史』9784121101433, 中公選書, 2023. 日本昭男『古代メソポタミアの神話と儀礼』9784000228961, 岩波書店, 2010. 津本英利『ヒッタイト帝国』9784569854571, PHP新書, 2023. 中塚武ほか編『先史・古代の気候と社会変化』9784653045038, 臨川書店, 2020. 西秋良宏・木内智康編『農耕と都市の発生』9784886214966, 同成社, 2009. 西秋良宏編『アフリカからアジアへ』9784022630940, 朝日選書, 2020. 馬場匡浩『ファラオ』9784480076762, 筑摩書房, 2025. ヤーション・ホアン『中国の盛衰』9784296120673, 日経BP, 2026. 前田耕作ほか『オリエント古代の探求』9784120054259, 中央公論新社, 2021. 前田徹『古代オリエント史講義』9784634640917, 山川出版社, 2020. 前田徹『シュメールの王碑文を読む』9784863761001, リトン, 2024. M. クメールほか『ヨーロッパとゲルマン部族国家』9784560510285, 白水社, 2019. 増永理考『ローマ帝国を生きるギリシア都市』9784814005246, 京大学術出版, 2024. 松木武彦『縄文とケルト』9784480069610, ちくま新書, 2017. 松本宣郎『初期キリスト教の世界』9784400213369, 新教出版社, 2022. L. ミジョット『古代ギリシアのいとなみ』9784887084773, 刀水書房, 2025. 宮川創『読めない文字に挑んだ人々』9784634152465, 山川出版社, 2024. 宮本正興ほか『新書アフリカ史』改訂新版, 9784065139486, 講談社, 2018. 山田重郎『アッシリア』9784480076205, ちくま新書, 2024. 吉村武彦編『古代史の基礎知識』9784047036727, KADOKAWA, 2020. 吉村武彦ほか編『文字とことば』9784000284998, 岩波書店, 2020. 吉村武彦ほか編『古代王権』9784000286381, 岩波書店, 2024. 李申『中国科学史』9784910326207, 樹立社, 2025. 渡部森哉『インカ帝国』9784121101501, 中公選書, 2024. このほか、授業内で随時紹介。
-------	---